

令和 6 年度国立大学法人等
職員採用（図書系）第二次試験問題

注 意 事 項

1. 問題は 16 問（20 ページ）で，解答時間は 1 時間 30 分です。
2. この問題は，後ほど回収します。切り取ったり，転記したり，持ち帰ったりしてはいけません。
3. 下欄及び解答用紙に第一次試験受験番号及び氏名を記入してください。

第一次試験受験番号
氏名

指示があるまで中を開いてはいけません

【No. 1】

図書館の理念に関連する以下の問いに答えなさい。

- (1) 図書館の自由に関する宣言（1979 年改訂）では、「提供の自由は、次の場合にかぎって制限されることがある。これらの制限は、極力限定して適用し、時期を経て再検討されるべきものである。」としている。「次の場合」に該当するものを下からすべて選んで記号で答えなさい。

- (a) 寄贈または寄託資料のうち、寄贈者または寄託者が公開を否とする非公刊資料
- (b) 行政機関が指定する機密文書
- (c) 人権またはプライバシーを侵害するもの
- (d) わいせつ出版物であるとの判決が確定したもの

- (2) 図書館の自由に関する宣言（1979 年改訂）では、「(ア)は、権力が国民の思想・言論の自由を抑圧する手段として常用してきたものであって、国民の知る自由を基盤とする民主主義とは相容れない。」としている。(ア)に該当する語句を下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| (a) 監査 | (b) 禁書 | (c) 検閲 |
| (d) 検査 | (e) 捜査 | (f) 焚書 |

- (3) 図書館員の倫理綱領（日本図書館協会 1980.6.4 総会決議）では、12 の図書館員としての自律的規範が示されている。自律的規範に該当しないものを下からすべて選んで記号で答えなさい。

- (a) 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。
- (b) 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上につとめる。
- (c) 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。
- (d) 図書館員は、労働条件よりも図書館奉仕を優先するようにつとめる。

【No. 2】

次は、図書館の歴史に関する記述である。(1)～(4)に当てはまる最も適切な語句を下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- 1) エジプトを統治したプトレマイオス朝は、当時の首都の(1)をヘレニズム世界の中心とすべく、王立研究所(ムセイオン)を設立し、そこに図書館を併設した。この図書館は、「(1)図書館」と呼ばれ、当時の世界各地から書物が集められ、その数は70万巻を超えていたといわれている。
- 2) ボードレイ(1545～1613年)は、(2)大学出身で、母校で教え、のちに外交官として活躍した。彼は1587年に引退したあと、長く破壊されたままとっていた母校のハンフリー図書館の復興に努めた。1602年、建物を修理し、自分が収集した貴重書2,000冊等で再開した。現在、(2)大学図書館はボードレイ図書館(Bodleian Library)とよばれている。
- 3) 1737年、(3)大学開設に伴い、同大学に図書館が設置された。この図書館の特色は、十分な経営予算を確保し、図書や雑誌を系統的に購入する仕組みを有していたことである。また、1752年に学術協会が創刊した『(3)学術批評』という雑誌と連携し、この雑誌の論評に基づき資料の選択が行われた。収集された図書は、書名目録とともに、主題目録も整備されていた。
- 4) 1887年、デューイ(Melvil Dewey)は、図書館を効率よく経済的に運営する手法を図書館員たちに教えようと、(4)大学ライブラリーエコノミーというプロフェッショナル・スクールの開設に尽力し、校長を務めた。彼は、目録分類等の資料組織化や本の出納、貸出等図書館業務の作業効率を上げる方策を学生に伝授し、また、本を愛する気持ちの大切さを説いた。

- | | |
|--------------|--------------|
| (a) アレクサンドリア | (b) オックスフォード |
| (c) ゲッチンゲン | (d) ケンブリッジ |
| (e) コロンビア | (f) ニネヴェ |
| (g) ニューヨーク | (h) ノーデ |
| (i) ハーバード | (j) ブリティッシュ |
| (k) プロイセン | (l) ペルガモン |
| (m) ボストン | (n) ライプニッツ |
| (o) リュケイオン | (p) ロンドン |

【No. 3】

次は, ALA glossary of library and information science, Fourth Edition (2013) での用語の説明文である。(1) ~ (4) に該当する用語を下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) The published papers and abstracts of papers presented at a meeting of a society or other organization, frequently accompanied by a record of the meeting called the proceedings. Sometimes used synonymously with memoir.
- (2) 1. A periodical issued by a government department, a society, or an institution.
2. In a special library, a selective dissemination of information services in fields of interest to the host organization, produced and issued by the library, usually weekly or monthly, and usually arranged by subject.
- (3) 1. A list of persons or organizations, systematically arranged, usually in alphabetic or classed order, giving address, affiliations, etc., for individuals, and addresses, officers, functions, and similar data for organizations.
2. In computer science, a list or table of identifiers with references to corresponding data fields, items, or entries within a record, file, or computer program.
- (4) 1. In cataloging, a bibliographic resource that is complete in one part or intended to be completed within a finite number of parts. (AACR2)
2. A systematic and complete treatise on a particular subject.

- | | |
|------------------|----------------------|
| (a) abridgment | (b) bibliography |
| (c) bulletin | (d) catalog |
| (e) diplomatics | (f) directory |
| (g) index | (h) journal |
| (i) magazine | (j) manuscript |
| (k) monograph | (ℓ) patent |
| (m) standards | (n) technical report |
| (o) transactions | (p) transcript |

【No. 4】

次は、電子書籍に関する記述である。これを読んで以下の問いに答えなさい。

- 1) (ア) とは、電子書籍のファイルフォーマット規格の 1 つである。IDPF という電子出版・電子書籍に関わる国際的な標準化団体が仕様を策定し、普及促進に注力していた。2017 年 1 月に策定団体が IDPF から W3C へ統合された。
- 2) (イ) とは、表示するデバイスの画面サイズや文字サイズの変更等に合わせて、テキストやレイアウトが流動的に表示される方法で制作された電子書籍である。フォントを拡大したり縮小したりすると、1 行の文字数が自動的に変更されて再表示されるため、紙の書籍のようなページ概念を持たない（ただしページ機能を持たせることは仕組みとして可能）。
- 3) 電子書籍は (ウ) の対象ではなく、シリーズの 1 巻目が割引価格で提供される、期間限定無料版が提供される等、紙の書籍とは異なる価格設定がされる場合が多い。
- 4) (エ) は、紀伊國屋書店が提供する法人向けの学術和書電子図書館サービスである。2018 年 1 月にリリースし、2024 年 1 月、搭載タイトルは 8.6 万点、導入機関は国内外で 490 機関を超えた。

(1) (ア) に当てはまる最も適切な語句を下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (a) EPUB | (b) HTML | (c) MOBI |
| (d) PDF | (e) XMDF | (f) XML |

(2) (イ) に当てはまる最も適切な語句を下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| (a) PDA 型電子書籍 | (b) アグリゲータ型電子書籍 | (c) ソフトウェア型電子書籍 |
| (d) フィックス型電子書籍 | (e) 読み上げ型電子書籍 | (f) リフロー型電子書籍 |

(3) (ウ) に当てはまる最も適切な語句を下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| (a) インボイス制度 | (b) オンライン資料収集制度 | (c) 公貸権制度 |
| (d) 再販売価格維持制度 | (e) 著作権制度 | (f) 電子帳簿等保存制度 |

(4) (エ) に当てはまる最も適切な語句を下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| (a) honto | (b) Kindle | (c) KinoDen |
| (d) Kinoppy | (e) LibrariE | (f) MeL |

【No. 5】

次は、資料の保存に関する記述である。(1) ～ (4) の文章の内容が示す語句として最も適切なものを下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) 革装本が長い時間にわたり光や酸素、大気汚染物質（硫黄酸化物や窒素酸化物等）に曝されることで、革の表面が粉状に劣化する現象のこと。その修復には、ヒドロキシ・プロピル・セルロースのエタノール溶液の塗布が有効である。
- (2) マイクロフィルム画像の土台となるシート部分（ベース）の素材である TAC（トリアセチルセルロース）が酢酸を放出しながら変形・融解・固着・破断等する現象の総称。水が介在する加水分解による劣化だとみなされている。予防には、標準化されている温度・湿度での環境管理を徹底するとともに、劣化を誘因・促進する化学的要因をできる限り絶つ必要がある。
- (3) 零下 10 度以下で霜が付かない冷凍庫、あるいは空気循環型冷蔵庫に入れて水を氷にし、氷から水蒸気に昇華させながら乾燥させる技術のこと。被災等による水損資料の歪みやカビ発生等の二次被害防止のための応急処置に有効な手段とされている。資料の量や水損状態によっては、専門業者による真空状態下の強制的な昇華により変形を防ぎ付着した泥等を落としやすくする、より高度な手法もある。
- (4) ある一定期間、対象物が入った密閉空間に薬剤を気化させたガスを送り込み、殺虫・殺卵・殺カビ処理を行うこと。対象となるものは図書館で所蔵する貴重書や文書類、博物館や美術館施設に保管される標本・絵画・工芸品等さまざまである。ただし、その薬剤に残効性はないため、適正な温湿度管理や害虫管理が望めない場合は、定期的な処理が必要となる。

- | | | |
|--------------------|---------------|-------------|
| (a) エア・ストリーム法 | (b) 燻蒸 | (c) 抗酸化作用 |
| (d) 殺虫剤散布 | (e) スキャニング | (f) 脱酸化処理 |
| (g) 虫害 | (h) ドライクリーニング | (i) トラップ |
| (j) ビネガーシンドローム | (k) 日焼け | (l) フォクシング |
| (m) プリザベーションマネジメント | | (n) フリーズドライ |
| (o) 溶解 | (p) レッドロット | |

【No. 6】

次はデータベースやサービスに関する記述である。(1)～(4)の文章の内容が示すデータベースやサービスの名称として最も適切なものを下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) 国立情報学研究所の提供する知識発見のための学術情報検索基盤である。1億8千万件を超える日本の学術情報の中から研究成果や論文情報のみならず、図書、研究データ、それらの成果を生み出した研究者、そして研究プロジェクトの情報等を統合的に検索することができる。
- (2) 1991年に創設された物理学、数学、コンピュータサイエンス及び関連分野のプレプリント・サーバである。2017年には電気工学システム科学、経済学が新たに加わった。長くコーネル大学図書館(CUL)が運営してきたが、2019年1月に図書館から Cornell Computing and Information Science (CIS) に運営が移った。
- (3) 日本国内の学術機関リポジトリに登録されたコンテンツのメタデータを収集し、提供するデータベース・サービス。大学等で運用されている機関リポジトリからデータが収集されており、収集には、OAI-PMH というメタデータ交換のプロトコルが使用されている。収集されたコンテンツが検索できるほか、他の外部システムへのデータ提供も行われている。ハーベストした機関リポジトリのコンテンツの統計情報も公開している。
- (4) 科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルプラットフォームであり、日本国内の2,400を超える発行機関が、4,000誌以上のジャーナルや会議録等の刊行物を、低コストかつスピーディーに公開している。日本から発表される科学技術情報の迅速な流通と国際情報発信力の強化、オープンアクセスの推進を目指し、学協会や研究機関等における科学技術刊行物の発行を支援している。

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| (a) arXiv.org | (b) CiNii Articles | (c) CiNii Books |
| (d) CiNii Research | (e) ERIC | (f) GakuNin RDM |
| (g) IRDB | (h) J-STAGE | (i) JapanKnowledge |
| (j) KAKEN | (k) PubMed | (l) researchmap |
| (m) Scopus | (n) Web of Science | |
| (o) 雑誌記事索引データベース | | (p) ジャパンサーチ |

【No. 7】

次は、Budapest Open Access Initiative による宣言（2002 年）の一部である。これを読んで以下の問いに答えなさい。

The literature that should be freely accessible online is that which scholars give to the world without expectation of payment. Primarily, this category encompasses their peer-reviewed journal articles, but it also includes any unreviewed preprints that they might wish to put online for comment or to alert colleagues to important research findings. There are many degrees and kinds of wider and easier access to this literature. By “open access” to this literature, we mean its free availability on the public internet, permitting any users to read, download, copy, distribute, print, search, or link to the full texts of these articles, crawl them for indexing, pass them as data to software, or use them for any other lawful purpose, without financial, legal, or technical barriers other than those inseparable from gaining access to the internet itself. The only constraint on reproduction and distribution, and the only role for copyright in this domain, should be to give authors control over the integrity of their work and the right to be properly acknowledged and cited.

While the peer-reviewed journal literature should be accessible online without cost to readers, it is not costless to produce. However, experiments show that the overall costs of providing open access to this literature are far lower than the costs of traditional forms of dissemination. With such an opportunity to save money and expand the scope of dissemination at the same time, there is today a strong incentive for professional associations, universities, libraries, foundations, and others to embrace open access as a means of advancing their missions. Achieving open access will require new cost recovery models and financing mechanisms, but the significantly lower overall cost of dissemination is a reason to be confident that the goal is attainable and not merely preferable or utopian.

To achieve open access to scholarly journal literature, we recommend two complementary strategies.

I. (ア): First, scholars need the tools and assistance to deposit their refereed journal articles in open electronic archives, a practice commonly called, self-archiving. When these archives conform to standards created by the Open Archives Initiative, then search engines and other tools can treat the separate archives as one. Users then

need not know which archives exist or where they are located in order to find and make use of their contents.

II. (イ): Second, scholars need the means to launch a new generation of journals committed to open access, and to help existing journals that elect to make the transition to open access. Because journal articles should be disseminated as widely as possible, these new journals will no longer invoke copyright to restrict access to and use of the material they publish. Instead they will use copyright and other tools to ensure permanent open access to all the articles they publish. Because price is a barrier to access, these new journals will not charge (ウ) subscription or access fees, and will turn to other methods for covering their expenses.

(1) (ア) ～ (イ) に該当する語句を下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|--------------------------|----------------------|--------------------------------|
| (a) Diamond open access | (b) Gold open access | (c) Green open access |
| (d) High Impact Journals | (e) Hybrid journals | (f) Institutional Repositories |
| (g) Open-access Journals | (h) Preprint servers | (i) Self-Archiving |

(2) 下線部 (ウ) の日本語訳として最も適切なものを下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| (a) 学会費やアクセス料 | (b) 聴き放題サービス料 | (c) 掲載料やアクセス料 |
| (d) 購読料やアクセス料 | (e) 参加費やアクセス料 | (f) 投稿料やアクセス料 |

(3) 本文の内容に沿った説明として適切なものを下からすべて選んで記号で答えなさい。

- (a) プレプリントは未査読のため、オンラインで自由にアクセスできるべき文献に含まれない。
- (b) 実験によると、査読誌に掲載された文献へのオープンアクセスを提供するための全体的なコストは、従来の形式の普及のコストよりもはるかに低いことが示されている。
- (c) 研究者の権利を守るため、オープンアクセスであっても論文を索引付けするためにクロールすることは許されない。
- (d) 著作者は自分の作品の完全性を制御すると共に、収益を得るべきである。

【No. 8】

次は、各図書を「日本十進分類法」（新訂 10 版）に基づき分類したものである。（1）～（4）に当てはまる最も適切な一文字の英数字を答えなさい。

- 1) 化学辞典 / 吉村壽次編集代表

430.(1)3

- 2) 源氏物語 / [紫式部著]；柳井滋 [ほか] 校注

9(2)3.36

- 3) 文系のためのめっちゃやさしい心理学 / 下山晴彦監修

(3)40

- 4) 日本家計簿記史：アナール学派を踏まえた会計史論考 / 三代川正秀著

(4)91.8

【No. 9】

次は、デジタルアーカイブに関連する記述である。(1)～(3)に当てはまる最も適切な語句を下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- 1) 内閣府知的財産戦略推進事務局がとりまとめた「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドラインにおいて、デジタルアーカイブとは「様々なデジタル情報資源を収集・保存・提供する仕組みの総体」としている。さらに、デジタルアーカイブで扱うデジタル情報資源は、デジタルコンテンツだけでなく、アナログ媒体の資料・作品も含む「コンテンツ」の内容や所在に関する情報を記述した「(1)」、コンテンツの縮小版や部分表示である「サムネイル/プレビュー」も対象としている。
- 2) (2) とは、ウェブ上でデータの公開と共有をするための方法であり、オープンデータとして公開されているデータを結び付け、利用者が自由に利用できるように公開されているものをいう。国内の例としては、総務省統計局所管の国勢調査等の一部の統計データについて、(2) 形式の統計データを作成し、政府統計の総合窓口 (e-Stat) で提供を行っている。その他、国立国会図書館においても書誌データ (国立国会図書館サーチ)、典拠データ (Web NDL Authorities)、震災関連データ (国立国会図書館東日本大震災アーカイブ) を (2) 形式で提供している。
- 3) (3) とは、画像へのアクセスを標準化し、相互運用性を確保するための国際的な枠組みである。これまで、デジタルアーカイブを公開しているサイトごとに画像データ等の表示方法、利便性の異なりが課題とされてきたが、(3) では、画像データ等のコンピュータ上のやりとりの仕組みを共通化するため、利用者にとっては、個々のサイトの表示方法を習得しなくても自由なサイト利用ができるようになる。

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------------|
| (a) AACR2 | (b) API | (c) DOI | (d) Dublin Core |
| (e) HTML | (f) IIIF | (g) LOD | (h) OAIS |
| (i) OCLC | (j) OCR | (k) SIST | (l) TRC |
| (m) ウェブデータ | (n) 学術データ | (o) メタデータ | (p) 書誌データ |

【No. 10】

次は、大学図書館を取り巻く著作権に関連する記述である。(1)～(4)に当てはまる最も適切な語句を下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- 1) は、著作者、実演家、レコード製作者、放送事業者及び有線放送事業者の権利を有する「権利者」のために、授業目的による著作物等の公衆送信利用に関する補償金を収受し、これを分配することによって、教育分野の著作物等の利用の円滑化を図るとともに、著作権及び著作隣接権の保護に関する事業等を実施し、文化の普及発展に寄与することを目的とした指定管理団体である。
- 2) 著作者が自らの著作物を公開する際に、その著作物の利用条件を意思表示するためのツールとして、 というライセンスが国際的に利用されている。すべての権利を主張するいわゆる「All rights reserved」と、すべての権利を放棄する「パブリックドメイン」の間で、いくつかの権利を主張する場合に利用され、「BY (表示)」「NC (非営利)」「ND (改変禁止)」「SA (継承)」の4つのマークの組み合わせができる。
- 3) 著作権や著作隣接権等の権利には一定の存続期間が定められており、この期間を「保護期間」という。「著作権 (財産権)」の保護期間は、著作者が著作物を「創作したとき」に始まり、原則として、著作者の「生存している期間+」と著作権法第51条に定められている。
- 4) 著作権法では、一定の場合には、著作権者の了解を得ずに著作物を利用できる例外規定が置かれている。これは、著作者の「財産権 (著作権)」を制限することで公正な利用を確保するという趣旨から「」と呼ばれている。例えば、著作権法第37条は、視覚による表現の認識に障害がある人々が、印刷物等の視覚著作物を利用するために、著作権者の許諾なしに情報変換を行うことを認めるための規定であり、その一例である。

- | | | | |
|------------------------|------------------------|-----------------|-------------|
| (a) DAPCOM | (b) JPCOAR | (c) SARLIB | (d) SARTRAS |
| (e) オープンアクセス | (f) オープンソースソフトウェアライセンス | | |
| (g) クリエイティブ・コモンズ・ライセンス | (h) 権利取得規定 | (i) 権利制限規定 | |
| (j) 公表後50年間 | (k) 公表後70年間 | (l) コピーレフトライセンス | |
| (m) 死後50年間 | (n) 死後70年間 | (o) フェアユース | |
| (p) フリーアクセス | (q) 利用取得規定 | (r) 利用制限規定 | |

【No. 11】

次は、日本図書館協会公共図書館部会参考事務分科会が 1961 年に作成した「参考事務規程」の一部である。これを読んで以下の問いに答えなさい。

(回答事務の原則)

- 3 回答事務は資料を提供することを原則とする。
- 4 前条の規程にかかわらず、軽微な質問であって資料の裏付のあるものに限って解答を与えてもよい。
- 5 (ア) 自館で資料を発見出来ない場合には適当な他の図書館または、専門機関・専門家への紹介または照会をはかる。
- 6 3 条から 5 条までの範囲を越える便宜または利益の供与はしない。
- 7 他人の ・名誉・財産等に損害を与え、または社会に直接悪影響をおよぼすと見られる問題は受け付けない。
- 8 次の各号に該当する質問には解答を与えてはならないと共に資料の提供も慎重でなければならない。ただし問題によっては専門機関・専門家を紹介する。
 - a 医療・健康相談
 - b 相談
 - c 身上相談
 - d 仮定または将来の予想に属する問題
- 9 次の各号に該当する質問には解答を与えない。
 - a 学校の宿題
 - b 問題

(1) 下線部 (ア) のサービスの名称として最も適切なものを下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (a) カレントアウェアネスサービス | (b) デジタルレファレンスサービス |
| (c) 図書館オリエンテーション | (d) パスファインダー |
| (e) レファレンスインタビュー | (f) レフェラルサービス |

(2) (イ) ～ (エ) に該当する語句を下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

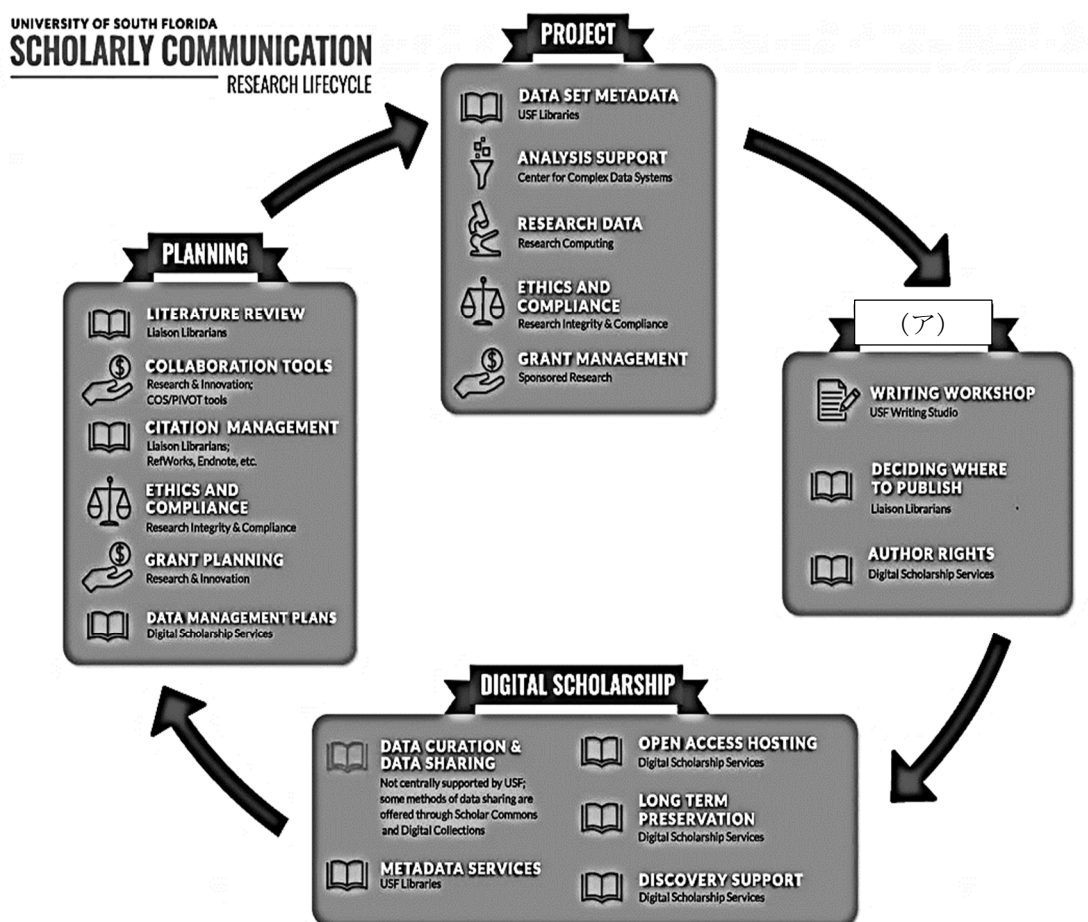
- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| (a) オンライン | (b) 起業 | (c) 懸賞 |
| (d) 借金 | (e) 身体 | (f) 生命 |
| (g) 著作権 | (h) 図書館利用方法 | (i) 特許 |
| (j) 複写 | (k) 法律 | (l) レポート作成 |

【No. 12】

次は、米国の南フロリダ大学図書館における研究支援に関するライブラリアンの文章の一部である。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

The process of creating a research article for publication involves much more than writing, and the process of being published involves much more than article submission.

A published article is new knowledge on which new research can be based, and likely represents years of research and planning, careful selection of sources and publishing venues, and copyright permissions and publishing contracts. At the end of a research lifecycle, authors still have work to do advertising their publication in hopes of guaranteeing that their years of research efforts get into the hands of the scholars and public who need to see it most. It's these many processes and milestones that serve to communicate the expertise of one university's students and faculty to the rest of the world, involving them in a dialog of discovery and creation that libraries often refer to as scholarly communication.



Such an enormous and complex process will inevitably include (イ) obstacles that may not be foreseen by the researcher or research team. For example, in the beginning stages of a project, a researcher may be selecting their sources to help build or contextualize the new information they plan to offer to the profession. Most of those sources will be protected by copyright laws that guarantee creators exclusive rights to copy, build on, and distribute their work. If incorporating more than a summary or a small quote, a use that may be considered fair, a researcher may need to obtain permissions for using the content. But figuring out who owns the copyright over a work could be a complex endeavor.

Authors of published articles and books often sign away copyright ownership to their publishers during the publication process, and publisher permissions processes vary greatly, sometimes taking four weeks or more to receive feedback. Because of this, permissions requesting can be a lengthy endeavor, and not addressing the process with time to spare before publication may contribute to unplanned delays. Copyright and scholarly communications experts at the USF Libraries are here to help researchers with determining copyright ownership and permissions searches.

Once the research article is ready for publication, an author has several more tasks ahead of them. The choice of journal or publication venue is often based on its established reputation within a discipline, and whether it is favored by other scholars to which an author wishes to communicate. Often overlooked, but equally important, is how that journal treats its authors and what rights authors retain over their work. Should a publication venue's process include a transfer of copyright without generous author rights, a researcher may find that they have no rights to legally use their own work in the future. Our Digital Scholarship Services (DSS) team can help locate journals with favorable author rights policies, provide tools to help authors negotiate authors rights during the publication process, and provide guidance on interpreting publishing contracts.

【出典】 University of South Florida Library ウェブサイトより <https://lib.usf.edu/>
<Featured>By LeEtta Schmidt, Copyright Librarian, Digital Scholarship Services

(1) 図中の (ア) に当てはまる最も適切な語句を下から一つ選んで記号で答えなさい。

- | | |
|-----------------|--------------|
| (a) ACTION | (b) ANALYSIS |
| (c) EXPERIMENT | (d) FUNDING |
| (e) PUBLICATION | (f) RESEARCH |

(2) 下線部(イ)の実例として、本文の内容に沿ったものを下からすべて選んで記号で答えなさい。

- (a) 研究者が著作権の所有者を把握するのは複雑な作業になる可能性がある。
- (b) 個人から許諾を得る場合は出版社から許諾を得るよりも時間がかかる可能性がある。
- (c) 出版社の許可プロセスは、フィードバックを受けるまでに4週間以上かかる可能性がある。
- (d) 著作権者が不明な場合は高額な補償金を支払う必要がある。

(3) 南フロリダ大学図書館が提供する研究のライフサイクルの支援として、本文の内容に沿った説明として適切なものを下からすべて選んで記号で答えなさい。

- (a) 研究者が口述する文章を原稿に書き起こす作業を行い、投稿のための各種手続をサポートする。
- (b) 研究者がコンテンツの使用許可を取得する必要がある場合、図書館職員が代理人となり交渉する。
- (c) 著作権及び学術コミュニケーションの専門家が、著作権所有者の判断と許諾の調査により支援する。
- (d) 有利な著作権ポリシーを持つジャーナルの特定を支援し、出版プロセスにおける著者の権利交渉に役立つツールを提供し、出版契約の解釈に係るガイダンスを提供する。

【No. 13】

次は、大学図書館に関連する政策文書の概要である。(1)～(4)の説明が示す政策文書の名称として最も適切なものを下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) 科学技術・学術審議会情報委員会に設置された部会の審議をまとめたもの。「デジタル・ライブラリー」を、大学図書館のあるべき姿として、2030 年度を目途に実現させるものと位置づけ、コンテンツとそれに関わるサービス、サービス環境、人材育成・確保、大学図書館間やほかの学術情報提供機関との連携の 4 側面から具体的方策の検討が行われた。
- (2) 令和 3 年 2 月に公表された、ジャーナル問題検討部会の審議をまとめたもの。早急に取り組むべき課題、着手すべき課題、検討を開始すべき課題に整理して検討した。早急に取り組むべき課題として、ビッグディール等の購読経費と APC の最適化を挙げ、大学等研究機関が契約主体としてグループ化し、交渉主体を明確にする取り組みの検討等、関係機関及び関係者に具体的取り組みを要請している。
- (3) オープン・アンド・クローズド戦略に基づく研究データの管理・利活用を実行することが我が国として求められていること等を背景として、公的資金による研究データの管理・利活用についての考え方を示したもの。令和 3 年 4 月に公表された。研究データの定義、研究データ基盤システムの運用、メタデータの付与による研究データの検索体制の構築、研究開発を行う機関の責務、公募型の研究資金における資金配分機関の責務、研究者の責務等の考え方を示している。
- (4) 令和 6 年 2 月に統合イノベーション戦略推進会議で決定された基本方針である。公的資金のうち 2025 年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費の受給者に対して、該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後に、即時に機関リポジトリ等の情報基盤に掲載することが義務付けられている。そのほか、学術プラットフォームに対する大学を主体とする集団交渉の体制構築や、研究成果発信のためのプラットフォームの整備・充実に向けた支援の実施、即時オープンアクセスに関する国際連携の推進などが盛り込まれている。

- (a) G7 科学技術大臣の共同声明
- (b) オープンアクセス推進に伴う学術成果とその根拠データの公開についての基本方針
- (c) オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について（審議のまとめ）
- (d) 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針
- (e) 公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方
- (f) 大学等におけるジャーナル環境の整備と我が国のジャーナルの発信力強化のあり方について
- (g) 大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあって求められる大学図書館像－
- (h) 第 6 期科学技術・イノベーション基本計画
- (i) 統合イノベーション戦略 2023
- (j) 我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）

【No. 14】

次は、「令和5年度『学術情報基盤実態調査』について（概要）」に記載された「図書館資料費の内訳」の表と、資料費の傾向について説明したものである。この表と説明を参考に、以下の問いに答えなさい。

単位：百万円

年度	平成24	30	令和元	2	3	4
電子ジャーナル	22,747 32.7%	31,475 44.4%	32,495 45.8%	32,565 46.1%	32,856 46.6%	35,438 (ア) %
電子書籍	1,006 1.4%	1,549 2.2%	1,687 2.4%	2,855 4.0%	2,843 4.0%	2,354 3.3%
データベース	6,078 8.7%	8,190 11.6%	8,756 12.3%	9,035 12.8%	9,498 13.5%	9,929 13.8%
図書	21,891 (イ) %	15,695 22.2%	14,608 20.6%	13,731 19.4%	13,158 18.7%	12,183 17.0%
雑誌	14,658 21.1%	11,571 16.3%	11,002 15.5%	10,358 14.7%	9,978 14.1%	9,893 13.8%
その他	3,167 4.6%	2,335 3.3%	2,377 3.4%	2,103 3.0%	2,200 3.1%	2,019 2.8%
合計	69,547 100%	70,814 100%	70,924 100%	70,648 100%	70,532 100%	71,815 100%

令和4年度の図書館資料費のうち、電子媒体の資料（電子ジャーナルと電子書籍の合計）に係る経費は (ウ) 億円であり、前年度より (エ) 億円（5.9%）増加した。

- (1) 表内の (ア) ～ (イ) に当てはまる数字を小数点以下1桁（2桁目を四捨五入）で答えなさい。
- (2) (ウ) ～ (エ) に当てはまる数字を整数（小数点以下を四捨五入）で答えなさい。

【No. 15】

次は、ネットワーク上で情報を交換するために必要な技術用語に関する記述である。

(1) ～ (4) の文章の内容が示す語句として最も適切なものを下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- (1) コンピュータ・ネットワークでコンピュータどうしが情報を交換するための通信規約。信号の電圧等物理的取り決めのレベルから、ユーザーが直接目に触れる応用ソフトウェアのレベルまでいくつかの層に分けて設計される。
- (2) ネットワークアプリケーションの識別番号。1 台のコンピュータ上で複数のアプリケーションが動いている場合、IP アドレスだけでは、通信相手となるアプリケーションを特定できない。そこで、アプリケーションごとに便宜的な番号を割り当て、受け取ったパケットをどのアプリケーションに引き渡すべきかをコンピュータに判断させる。
- (3) インターネット上の情報がある場所と取得方法を指定する記述方式。Web ブラウザのアドレス欄等に入力して必要な情報を取り出す際に使用する。
- (4) Web ブラウザと Web サーバ間で安全にデータをやり取りするためのプロトコル。通信の暗号化と認証を実現する。公開鍵暗号方式と共通鍵暗号方式の 2 つの暗号方式を使ってデータをやり取りする。第三者の認証局が発行した電子証明書が必要。

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| (a) AS番号 | (b) DOI | (c) HTTP |
| (d) RSA | (e) SaaS | (f) SGML |
| (g) SSID | (h) SSL | (i) URL |
| (j) Webサーバ | (k) シーケンス番号 | (l) セッション |
| (m) 多要素認証 | (n) プロトコル | (o) ポート番号 |

【No. 16】

次は、Guidelines for Responding to Misconduct in Research（文部科学省, 2014）の研究不正行為についての説明文である。（１）～（３）の文章の内容が示す語句として最も適切なものを下からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- （１） Making up data or research results, etc.
- （２） Manipulating research materials, equipment, or process to change data or results obtained from research activities.
- （３） Appropriating the ideas, analysis, analytical methods, data, research results, research paper(s), or words of other researchers without obtaining the permission of the researchers or giving appropriate credit.

- | | | |
|-------------------|--------------------|----------|
| (a) 横領 | (b) 改ざん | (c) 空出張 |
| (d) ギフトオーサiership | (e) ゴーストオーサiership | (f) 査読偽装 |
| (g) 情報漏洩 | (h) 盗用 | (i) 二重投稿 |
| (j) 捏造 | (k) 不正アクセス | (l) 不正受給 |